

令和5年度病害虫発生予察情報 特殊報 第1号

令和5年6月23日
青森県病害虫防除所

トマトキバガの発生について

1. 病害虫名 トマトキバガ (チョウ目キバガ科)
Tuta absoluta (Meyrick)

2. 特殊報の内容 青森県における誘殺の初確認

3. 発生経過

令和5年6月15日、津軽地域のトマト栽培ほ場周辺に設置したトマトキバガの侵入調査用のフェロモントラップにおいて誘殺されたガの成虫(写真1)を横浜植物防疫所が同定した結果、本県では未発生のトマトキバガであることが6月21日に判明した。現在のところ、本種による農作物の被害は確認されていない。

4. 国内外の発生状況

本種は南アメリカ原産であるが、2006(平成18)年にスペインへの侵入が確認されて以降、ヨーロッパ、アフリカ、中央アメリカ、西アジア、アラビア半島、インド、ネパール、東南アジアに分布を拡大し、2021(令和3)年までに台湾、中国、中央アジア諸国等の近隣地域でも発生が確認されている。

国内では、2021(令和3)年10月に熊本県、同年12月に宮崎県のトマトほ場で初めて確認された。それ以降、鹿児島県、大分県、福岡県、長崎県、愛媛県、和歌山県、岡山県、山口県、広島県、佐賀県及び沖縄県でトラップによる誘殺が確認されている。

5. 形態及び生態

成虫(写真2上)は、翅を閉じた静止時で体長5~7mm(前翅長約5mm、開張約10mm)。前翅は灰褐色の地色に黒色斑が散在する。後翅は一樣に淡黒褐色である。

幼虫(写真2下)は、終齢で約8mm。体色は淡緑色~淡赤白色。頭部は淡褐色。前胸の背面後方に細い黒色横帯がある。

1年に複数の世代が発生し、繁殖力が高い。発生世代数は環境条件によって異なり、年に10~12世代発生する地域もある。卵~成虫になるまでの期間は24~38日程度で、気温が低い時期はさらに延びる。

成虫は夜行性で、日中は葉の間に隠れていることが多く、雌は一生のうちに平均約260個の卵を寄主植物の葉の裏面などに産み付ける。幼虫は1齢から4齢までの生育ステージがあり、土中や葉の表面で蛹化する。

6. 主な寄主植物と被害

トマト、なす、ピーマン、ばれいしょ等のナス科植物が主要な寄主植物である。マメ科のいんげんまめも、寄主植物として確認されている。

トマトでは、茎葉の内部に幼虫が潜り込んで食害し、孔道が形成される。葉の

食害部分は表面のみ残して薄皮状になり、白～褐変した外観となる（写真3）。果実では、幼虫が穿孔侵入して内部組織を食害するため、果実表面に数mm程度の穿孔痕が生じるとともに腐敗が生じ、果実品質が著しく低下する（写真4）。

7. 防除対策

- (1) ほ場内をよく見回り、見つけ次第捕殺する。
- (2) トマトキバガの発生が疑われた場合は、病害虫防除所(TEL 017-729-1717)に連絡する。
- (3) 発生を拡大させないため、薬剤散布を行うとともに、被害葉や被害果実はほ場に放置せず、速やかに土中に深く埋没するか、ビニル袋などに入れて一定期間密閉し、寄生した成幼虫を全て死滅させ、適切に処分する。
- (4) 現在のトマトキバガに対する登録農薬は別紙（1）のとおり。
また、植物防疫法第29条第1項に基づく措置として、別紙（2）に記載された農薬による防除を行うことができる。
なお、薬剤散布にあたっては、薬剤抵抗性の発達を防ぐため系統が異なる薬剤のローテーション散布を行う。



写真1 県内で誘殺された成虫



写真2 トマトキバガ成虫(上)と幼虫(下)



写真3 トマト葉の食痕（飼育個体）



写真4 トマト果実の食痕（飼育個体）

注) 写真2～4は農林水産省植物防疫所原図

(別紙)

(1) トマトキバガに登録のある薬剤

トマト

商品名	IRAC
ベネビアOD	28
ベリマークSC	28
プリロソソ粒剤	28
プリロソソ粒剤オメガ	28

ミニトマト

商品名	IRAC
ベネビアOD	28
ベリマークSC	28
プリロソソ粒剤	28
プリロソソ粒剤オメガ	28

(2) 植物防疫法第29条第1項の規定により使用できる薬剤

以下に記載した農薬はトマトキバガに対して登録はないが、植物防疫法第29条第1項の規定による防除を行うために使用が可能である。

表中のIRACコードは複数の有効成分を含む剤はコードをカンマで区切って併記した。IRAC農業用殺虫剤作用機構分類の最新版は農薬工業会ホームページ (<http://www.jcpa.or.jp/labo/mechanism.html>) を参照。

トマト

商品名	IRAC
クリアオール水和剤	3A, 23
アーデント水和剤	3A
カルホス粉剤	1B
トルネードエースDF	22A
アフーム乳剤	6
マトリックフロアブル	18
コテツフロアブル	13
石原アタブロン乳剤	15
ディアナSC	5
スピノエース顆粒水和剤	5
プレバソソフロアブル5	28
フェニックス顆粒水和剤	28
ヨーバルフロアブル	28
ミネクトデュオ粒剤	28, 4A
ノーモルト乳剤	15
カスケード乳剤	15
カウンター乳剤	15
アフームエクセラ顆粒水和剤	6, 15
プレオフロアブル	UN
グレーシア乳剤	30

ミニトマト

商品名	IRAC
クリアオール水和剤	3A, 23
アーデント水和剤	3A
カルホス粉剤	1B
アフーム乳剤	6
プレバソソフロアブル5	28
フェニックス顆粒水和剤	28
ヨーバルフルアブル	28
ミネクトデュオ粒剤	28, 4A
コテツフロアブル	13
石原アタブロン乳剤	15
ディアナSC	5
スピノエース顆粒水和剤	5
ノーモルト乳剤	15
カウンター乳剤	15
カスケード乳剤	15
アフームエクセラ顆粒水和剤	6, 15
プレオフロアブル	UN
グレーシア乳剤	30

ばれいしょ

商品名	IRAC
マイクロデナボン水和剤85	1A
エルサン乳剤	1B
ジェネレート水溶剤	1B
モスピラン顆粒水溶剤	4A
パダン粉剤DL	14

ピーマン

商品名	IRAC
アディオオン乳剤	3A
アグロスリン水和剤	3A
アフーム乳剤	6
アニキ乳剤	6
コテツフロアブル	13
石原アタブロン乳剤	15
ディアナSC	5
スピノエース顆粒水和剤	5
マトリックフロアブル	18
ファルコンフロアブル	18
ランネート45DF	1A
カウンター乳剤	15
マッチ乳剤	15
カスケード乳剤	15
プレオフロアブル	UN
プレバソフフロアブル5	28
フェニックス顆粒水和剤	28
トルネードエースDF	22A
グレーシア乳剤	30

なす

商品名	IRAC
アーデント水和剤	3A
プレバソフフロアブル5	28
コテツフロアブル	13
石原アタブロン乳剤	15
アニキ乳剤	6
アフーム乳剤	6
カスケード乳剤	15
ディアナSC	5
スピノエース顆粒水和剤	5
ヨーバルフロアブル	28
フェニックス顆粒水和剤	28
ミネクトデュオ粒剤	28, 4A
グレーシア乳剤	30
マッチ乳剤	15

★農薬を使用する際には必ず最新の農薬登録情報を確認してください★

短期暴露評価の導入により使用方法が変更される農薬は、登録内容の変更前であっても、変更後の使用方法で使用する必要があるため、変更の有無を次のWebサイトで確認してから使用してください。

農林水産省「農薬情報」 https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_info/
 農林水産省「農薬登録情報提供システム」 <https://pesticide.maff.go.jp/>

《この情報に関する問い合わせ先》

青森県病害虫防除所
 〒030-0113 青森市第二問屋町4-11-6
 TEL:017-729-1717 FAX:017-729-1900
 E-mail byogaichu@pref.aomori.lg.jp